

2021.6.22 初夏のバーベキュー！！@特養ともしび

コロナ禍での生活、食事は大きな楽しみになっている方も多いかと思います！特養ともしびでは、入居者さんに普段とは違う場所でバーベキューを楽しんでいただきました。

お肉が焼けるいいにおい、モクモクと上がる煙に、ひととき非日常を感じていただけたと思います(*^-^*)



職員も汗をかきながら焼きます！



お肉、エビ、お野菜…おいしく食べていただけますように(^_^) しばし冷まします。アルミの中はホクホクのじゃがいもです☆



炭火で焼いたお肉は香ばしく、思わず笑顔になります(*^-^*)



たくさん食べてスタミナつけてください(^o^)

～ともしび菜園～



特養ともしびのバルコニーに菜園があります(^-^)
土や苗の準備は職員がしつつも、野菜や植物の育て方に詳しい入居者さんにアドバイスをいただきながら育て、夏野菜がしっかり実りました☆
見て癒され、食べて元気になる夏野菜。今後も季節に応じた野菜作りを継続し、楽しみを持っていただきたいと思います。

職員インタビューコーナー

保育士になろうと思ったきっかけ

母が保育士だったこと、中学生の時に職場体験で保育園に行き、楽しくて「おもしろい仕事だな」と思ったことがきっかけです。他に、母は学童保育の指導員も経験しており、子どもと遊び、関わるのが身近だったことも大きいように思います。「資格が取れる」ということも動機になりました。

職場環境

ともしび保育園初めての男性保育士ということで入職しました。先輩方はどのように感じておられたかわからないですが、楽しく働いています。自分の入職後、お2人続けて男性保育士が入職されており、今日「不審者訓練」をしたのですが、やってみると男手が必要なこともわかりましたので、より安全に子どもたちを守っていただけるのかな、と思いました。

ともしび保育園に入職して

親切に指導してもらえる環境です。園舎も新しく綺麗なので子ども達も快適に楽しく過ごせているな～と見ています。その姿を見ると「がんばろう！」と思えます(^-^)
前職は児童発達支援センターに勤務していたので、保育園という環境は初めてになりますが、3歳児を担当するにあたり、木村サブリダーはじめ周囲の職員から得るものを吸収して、今後も励みたいと思っています。

休日の過ごし方

コロナ禍でも楽しめる余暇として「ソロキャンプ」に興味があり、休日に道具を揃えていくことが今の楽しみになっています。子どもたちのデイキャンプも参加して一緒に楽しめたらいいな、と思っています。

今後、取組みたいこと

前職で培った障害に対する知識が広がれば嬉しいと思っています。
「気になる子」が今後向き合うことになりそうな課題に対して訓練士に繋がれたり、児童発達支援のアドバイザーが保育園を定期訪問して保育士と両輪でアプローチをするといったことを実現したいです。他に、地域の小学校と一緒に何かやれることはないかな、と考えたりしています。

未来の自分

想いとして、「気になる子」の理解を広めたいというのはありますので、コロナ終後は地域交流を保育園発信でやれたらいいのかな、と思います。地域との関わりを持つことで「気になる子が居る」という情報共有がなされ、お友達に助けてもらえることも多くなり、生活のしやすさがかなり違ってくることは前職で実感していました。そこをいかに作っておいてあげるか、本人のサポーターをいかに多くしてあげられるか、卒園後も見据えた動き方ができる人材になっていきたいです。



ともしび保育園 保育士 加藤義規さん

自分の中の譲れない想い

固執すると、前に進むことはないですし変化することもできないと思います。ですから自分は「固執しないことを譲れない」ことこそが「譲れない想い」です。強い想いがあっても、押すだけでは進まないこともあります。そんな時は折衷案を出して、周囲と歩調を合わせていくことを大切にしています。